

第4回

One Welfare教育研究センター セミナー

「腸内細菌叢と腸管感染症」

日時：07月05日（水） 15:00～16:00

場所：iCover 101号教室

講師：坂本 啓 先生

山口大学 大学院医 医学系研究科

ゲノム・機能分子解析学講座（微生物学講座）

我々の体には多様な共生微生物により構成される微生物叢が存在しており、体の部位でその構成種や密度は大きく異なっている。その中でも大腸の細菌叢は構成種および密度ともに最多であり、特に注目が高まっている。腸内細菌叢はヒトや動物の健康状態を左右することが近年急速に知られるようになった。その範囲は感染症、免疫疾患、代謝疾患はもちろん精神疾患にまで関与するといわれている。

この講演では、特に感染症との関係について注目する。世界の乳幼児死因の第2位は腸管感染症であり、その原因微生物は大腸菌やその近縁種が主である。それらの疾患を動物モデルで模倣し、腸内細菌叢が感染防御において果たす役割について検討した研究を紹介する。

連絡先：清水 隆（5895）、度会 雅久（5831）